



アイ
な

と

の

異

事
情

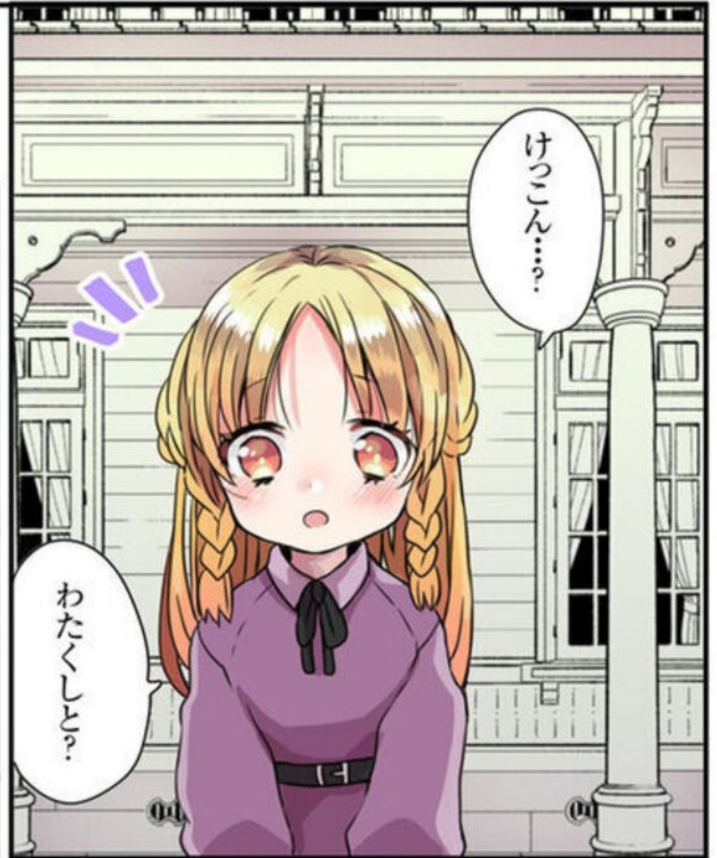
まめこ

イケないムコ選びの裏事情

第1話



そうだよ
約束だからね



けっこん...?

わたくしと?!



お嫁さんになつてほしい

蜜乃が大きくなったら

きゅ...



蜜乃お嬢様!

...乃様
蜜乃お嬢様



やくそくだね!

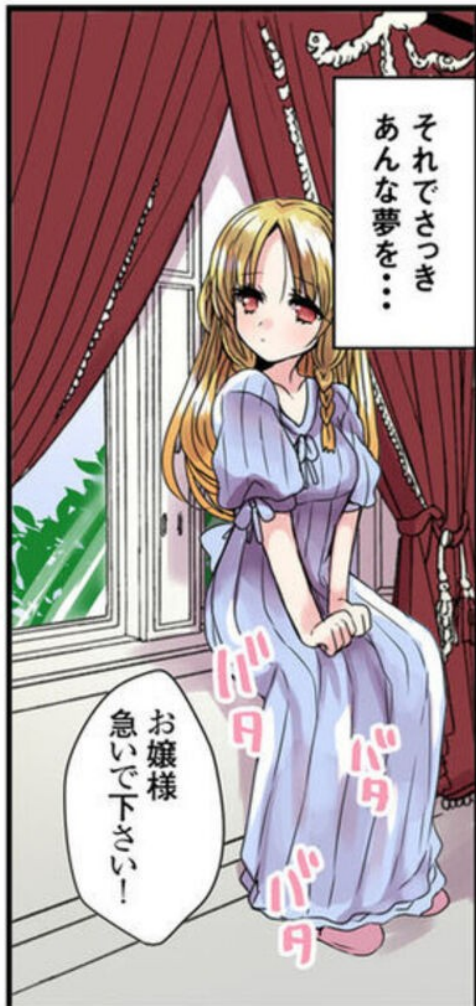


ほわ

うん

ほわ





それでさつき
あんな夢を…

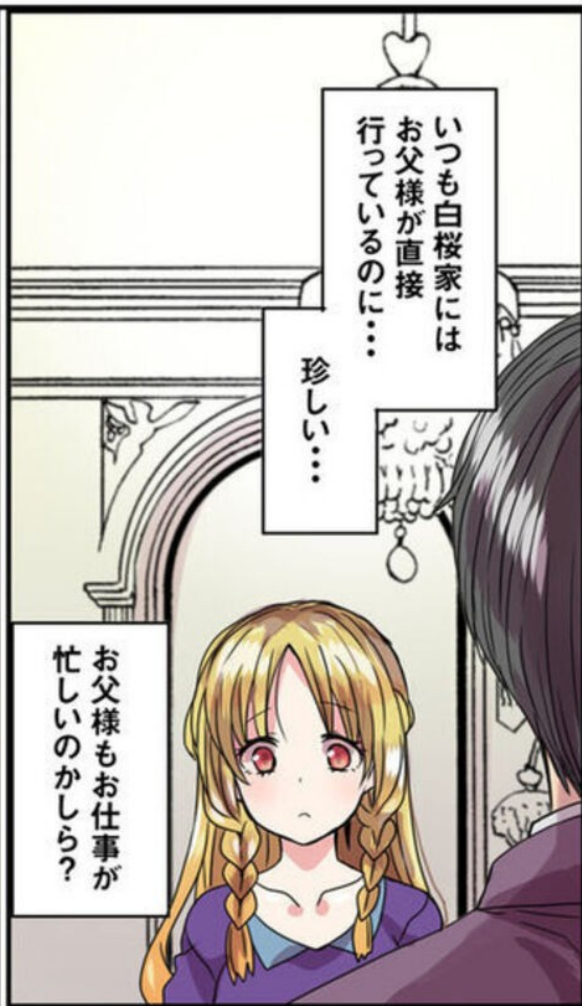
お嬢様
急いで下さい！



私が行くのは
凄く久しぶりで…

よろしく頼むよ
蜜乃…

子供の頃
以来だわ…



いつも白桜家には
お父様が直接
行っているのに…

珍しい…

お父様もお仕事が
忙しいのかしら？



でも
誰に言われたか
全然覚えてない…

あの男の子は
誰だったんだろう



やあよく来たね
蜜乃…



相変わらず
大きい家ですわ…



花園 蜜乃ちゃん

ようこそ
白桜へ…



確か…

白桜三兄弟…

ですわよね？



ひえ！
今舌打ち
されました？

あ…遠い所から
わざわざすまないね
疲れただろう？



…ちっ



初めまして
いつも父がお世話に
なってます…！！

初めまして？



僕は三男の清高
よろしくね

ヒュー



気にしないで
正宗兄は
短気なんだ

コソコソ



そしてそっちの
目つきの悪いのが
さつきも説明した
次男の正宗兄

目つき悪いのは
親父譲りだ!



そんで
長男の透兄だよ……!

清高まずは
蜜乃ちゃんを
部屋に案内しようか

ここじゃお茶も
出せないからね



そっか……

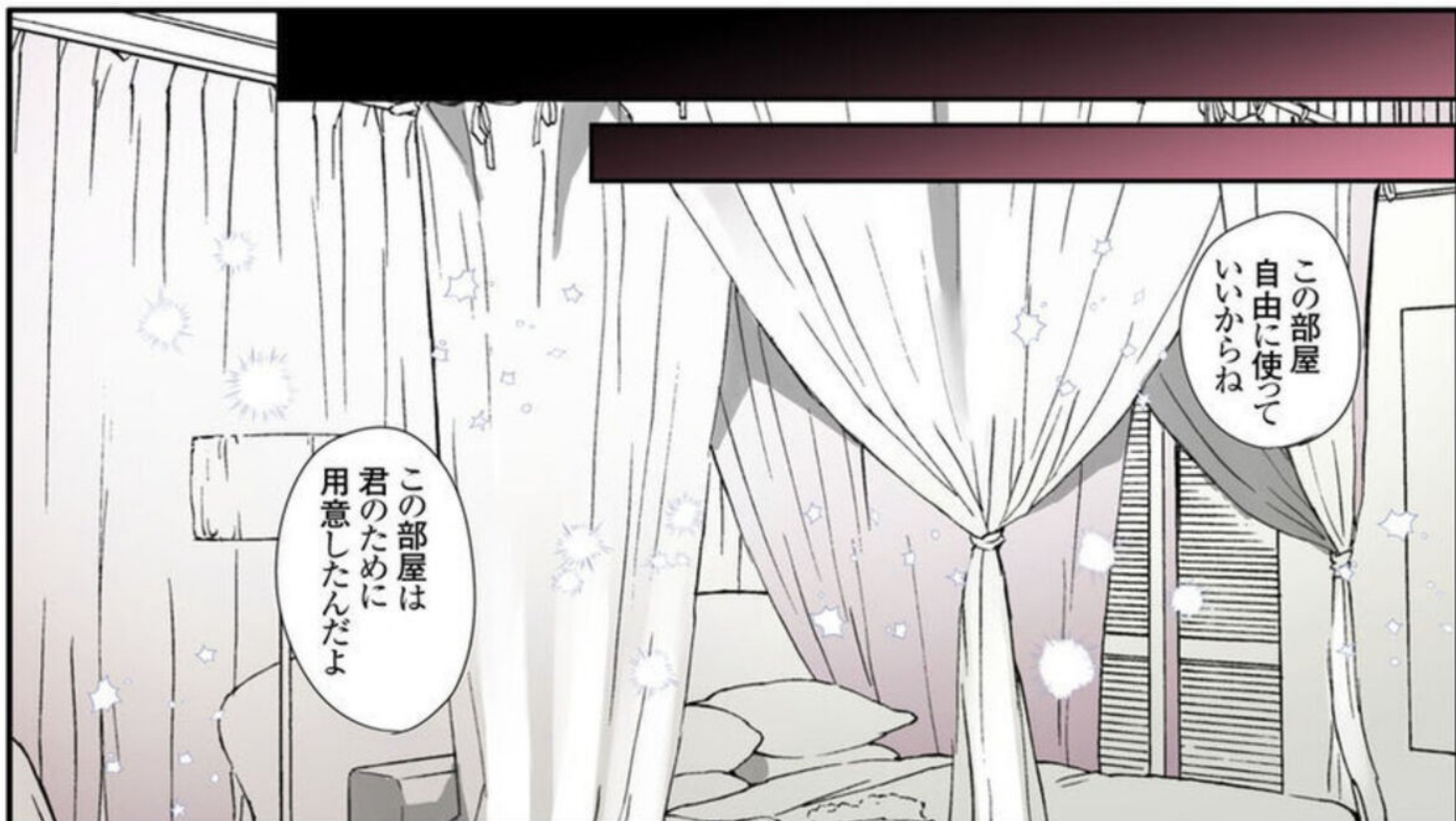
それは残念



さつき初めましてって
言ってたけど……

小さい頃この家に
来たの覚えてない?

それがあまり
記憶になくて……



この部屋
自由に使って
いいからね

この部屋は
君のために
用意したんだよ



何も…っ
ただこちらに
手土産を渡して欲しいと
言われただけで…

…そうか

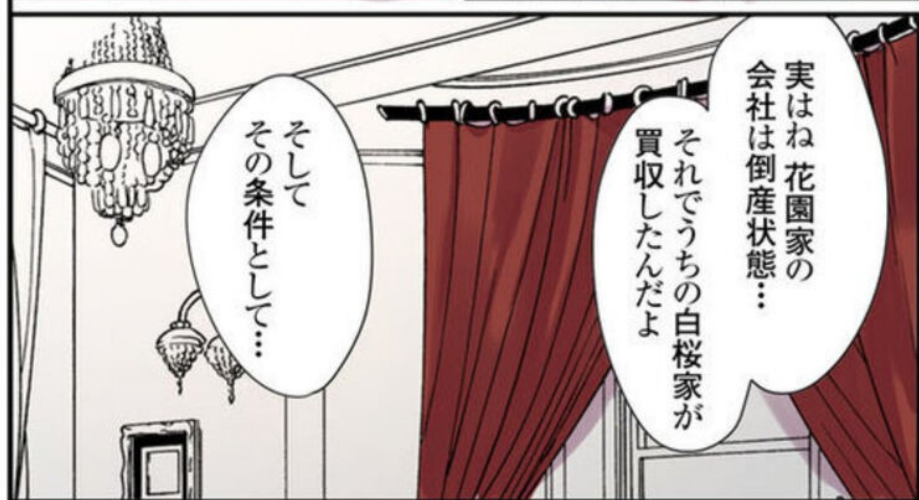


あれ？
お父さんに話
聞いていないのかい？



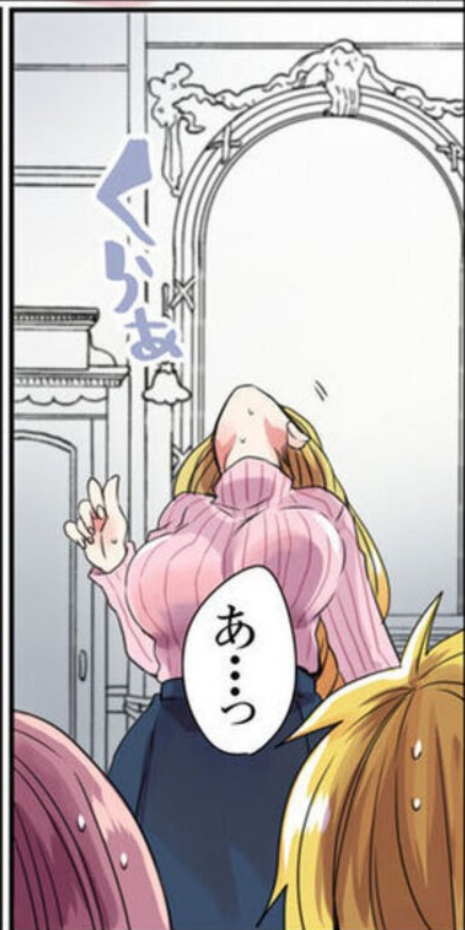
あ…あの
この部屋の
家具とか

私の部屋
そっくりなんです
が…



実はね花園家の
会社は倒産状態…
それでうちの白桜家が
買収したんだよ

そして
その条件として…





ほっ

あ…
目が覚めたかい?

蜜乃ちゃん



不安な時こうして
抱きしめて
もらったつけ

ドキ

ドキ

ん…



大丈夫よ

ぎゅ

暖かい…
小さい頃よく
お母さんに…

蜜乃だったら
大丈夫だから…



…えっ

ほっ

ほっ

…



おっ

こらこら
暴れないで
まだ動かない方が
いいよ…



きゃああ!
なんで一緒に?!

ここどこ!
おうちに
帰りたい!





逃げなきゃって
頭ではわかってるのに

蜜乃ちゃん
本当に何も
覚えてない？

昔会ったコト

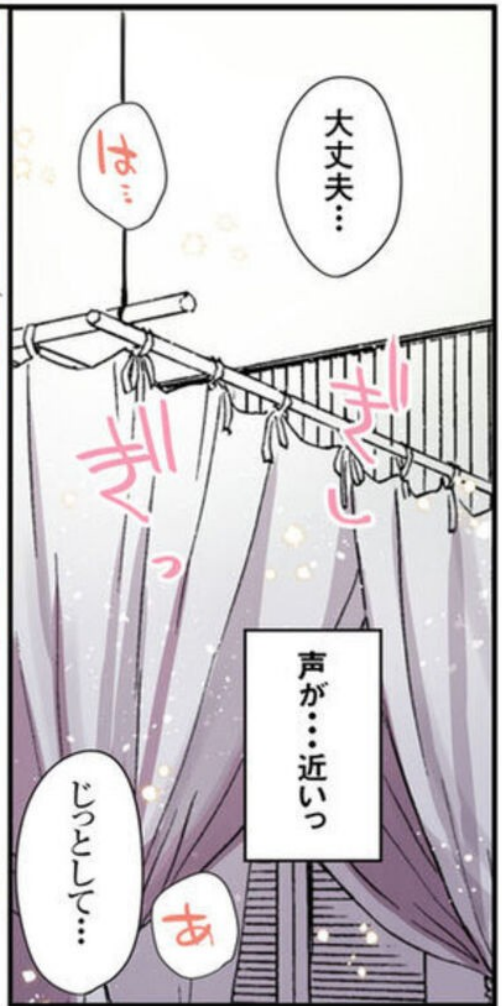


ひく
あ...

むい

はま

どうしてなの



大丈夫...

は...

声が...近いっ

じっとして...

あ



あの時君に
プロポーズ
したコトがあつてね

蜜乃ちゃんにも
承諾もらったん
だけどなあ...



覚えてません

君はまだ
とても小さい
お嬢さんだったからね

覚えてないのも
無理はないか...

離れられない...

このぬくもりから
この人の
暖かさから



...あ!



あの夢…

本当だったんだ

じゃあ
あの結婚の
約束の
相手は…

この人だったの？



あーあ
覚えてないなんて
残念…

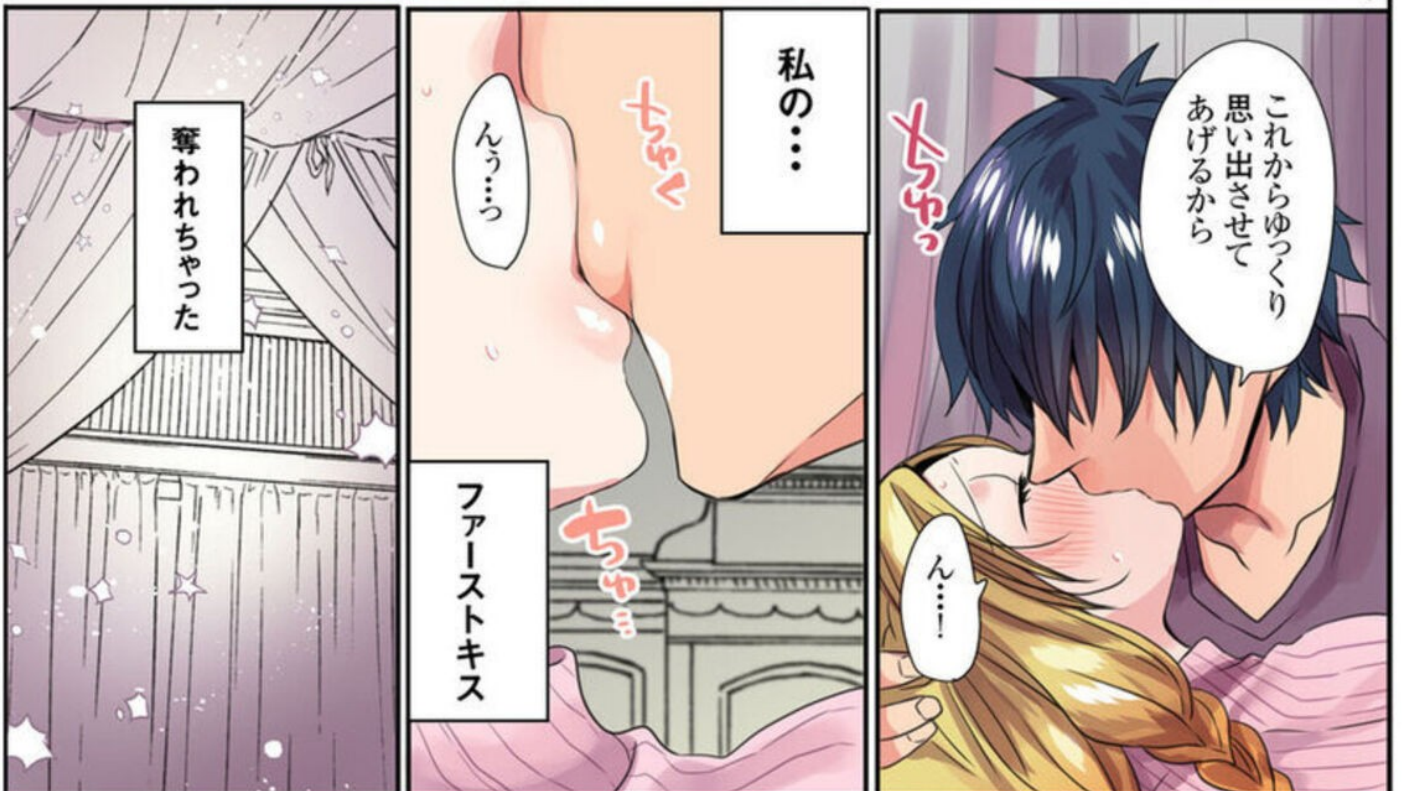
残念…

ご…
ごめんなさいっ

謝らなくて
いいんだよ

ドキ

ドキ



これからゆつくり
思い出させて
あげるから

ちゅっ

ん…!

私の…

んう…っ

ちゅっ

ちゅっ

ファーストキス

奪われちゃった



可愛いなあ
…ヨシヨシ

怖くないから
口を開けてごらん

あ…う
恥ずかしいです



く…
苦しいですわっ



ああ…
蜜乃ちゃんはキスの
仕方知らないんだね

う…はい



よくわからない
けれど…
ふわふわして

気持ちいい…



熱くて
柔らかくて

ふっふっ

絡まって…
軽く吸われて
いるの…?!



いいから
任せて…

わあ…
舌が入って
くる…!!





初めての刺激で
おっぱいじんじん
しちゃう...!!

はー♡

はー♡



ぷるっ
びゅっ

こんなに
気持ちよそう
なのに?



あっ

ムニムニ

おっぱい
ばかりだめえ

びゅ

ムニムニ



あっ

えっ...
だめです!
そこは...

ぐちゃ

ぐちゃぐちゃ

ん...
すごく濡れてるね



あっ

蜜乃ちゃんは
おっぱいよりも

こっちの方が
いいのかな...?

あっ

びゅ



ひっ...!

ぐちゃぐちゃ





ごめんね
本当は優しく
したいけど...

ひゅ

大人になった
君を目の前にしたら

我慢できない



ひゅ



あう...
透さん...

ん

覚えてないかも
知れないけど...
あの日からずっと
君のコト 想っていたんだ



私もこの人を
求めているの？



熱を含んだ声で
名前を呼ばれた瞬間

身体の奥が
じゅわりと
疼き始めた...



俺の「蜜乃」...



蜜乃…



この子は
俺にとつて

凄く
特別なんだ



兄貴に
やられたしな

かわいそうに
色々あって疲れて
いるんだね…



そうだね

無理させたことは
反省してるよ
今はゆっくり
寝かせてあげよう



君が…
覚えてないなら
それでも構わないから…



…おやすみ
蜜乃…



う……!

なんだか顔
見るのが
恥ずかしいわ……!

かあああ



おはよう
蜜乃……
よく眠れたかな?

ビュン

ビュン



はい

昨日少し
無茶させたし……
無理しては
ダメだよ

近い……

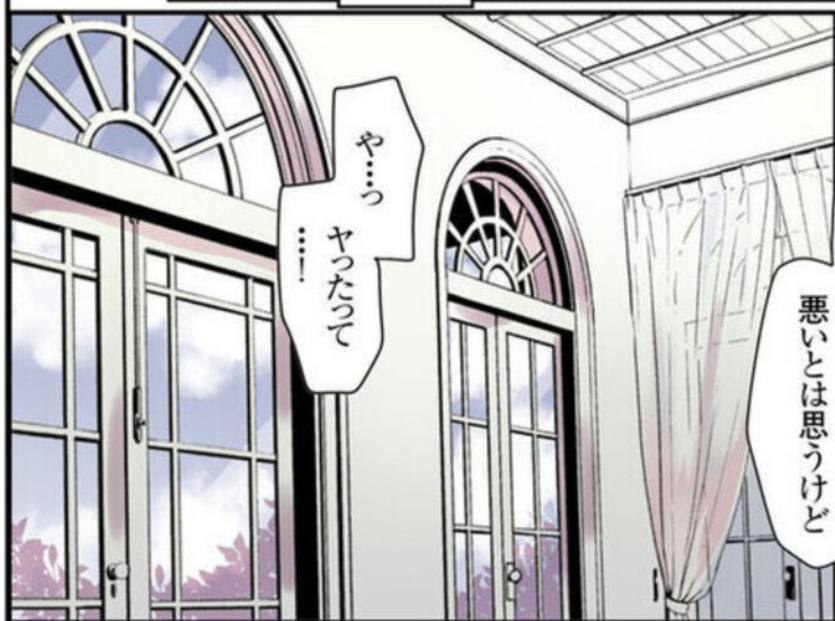
ビュン



でも
夫婦になるから
……いいのかしら

かあああ

昨夜私は
この方と……
してしまったんだわ
……!



や……っ
やったって
……!



なあ
あんた本当に
何も覚えてないのか

兄貴とやった
あとにこういうコト
言っちゃうのも

悪いとは思っけど



イケないムコ選びの裏事情

①

まめこ

© まめこ / 秋水社 ORIGINAL